

福祉サービス第三者評価の結果

1 評価機関

名称：株式会社 マスネットワーク	所在地：長野県松本市巾上 9-9
評価実施期間：平成30年8月8日1日～平成30年11月12日	
評価調査者（評価調査者養成研修修了者番号を記載） 050192 060861 060773 050231	

2 福祉サービス事業者情報（平成30年9月現在）

事業所名：阿智村立智里東保育園 （施設名）	種別：保育所
代表者氏名：阿智村長 熊谷秀樹 （管理者氏名） 保育園長 原 満	定員（利用人数）：45名
設置主体：阿智村 経営主体：阿智村	開設（指定）年月日： 昭和45年9月30日
所在地：〒395-0304 長野県下伊那郡阿智村智里1689番地	
電話番号：0265-43-2559	FAX番号：0265-43-2559
ホームページアドレス：	
職員数	常勤職員：9名 非常勤職員 1名
専門職員	（専門職の名称） 名
施設・設備 の概要	（居室数） 3 （設備等）

3 理念・基本方針

<p>【保育理念】入園しているすべての子どもの最善の利益を保障し、心身ともに健やかな子どもの育成と、地域に愛される保育園を目指します。</p> <p>【保育方針】子どもは、本来豊かに伸びていく可能性をその内に秘めています。子どもの主体性を尊重し、うちに秘めた力と向上する力を助け、阿智村の恵まれた自然・文化・歴史環境を活かし、夢中になって遊ぶことを保障し、十分に遊べる体づくりや、五感を育てる体験活動や人と関わる力を培いながら、健全な心身の発達を図ります。</p>
--

4 福祉サービス事業者の特徴的な取り組み

<p>地域資源を活かし、自然とふれあいながらしっかりと体を動かして遊び、地域の様々人と関わりながら五感をはぐくむ保育をします。</p> <p>クラス活動を主に、2歳児から5歳児までの異年齢での関わりも大切にし、仲間づくりをします。</p>

5 第三者評価の受審状況

受審回数（前回の受審時期）	今回初受審
---------------	-------

6 評価結果総評（利用者調査結果を含む）

◇特に良いと思う点

① 職員オリエンテーションの充実

職員は年度初めの入園式前に全員で「保育園 職員オリエンテーション」を受け、必要な事務手続きや具体的な業務等について研修している。村として、“保育所は子どもたちが人間形成の重要な時期の大半を過ごすところ”“現在を最もよく生き望ましい未来を作り出す大切な場所”として位置付け、保育所保育指針の持つ意義や改定された背景なども説明し、新しい指針に基づいて作成した保育課程を十分理解するよう研修内容が組み立てられている。特に子どもの最善の利益を考慮し、8項目で構成された「保育倫理」を学び、保育士としての姿勢ややるべきことを明確にしている。

② 保育実践の振り返り

村立保育所として、保育課程・期案に基づき月案・週案を立てており、学期毎に自己評価を実施している。週案については、毎週評価を行い、次週の活動に活かしている。また、個々の子どもの状況を記入し、一人ひとりへの関わりや課題を明確にした内容になっている。

自己評価については、職員会議等で読み合わせを実施しており、保育課程や期案に基づいているか、記入方法など話し合い、保育所全体の保育実践の改善や専門性の向上に努めている。

◇特に改善する必要があると思う点

① 規程とマニュアルの整備

保育所の役割は「入所する子どもの最善の利益を考慮し、その福祉を積極的に増進することに最もふさわしい生活の場」を求めている。一人ひとりの保育者は、倫理観に裏付けられた専門的な知識や技術、判断で日々の保育実践を行っている。さらに子どもを尊重した保育について職員で共通の理解が持てるように「プライバシー保護についての規程・マニュアル」「子どもの権利擁護・虐待防止についての規程・マニュアル」等必要なマニュアル類を見直し、整備することを期待したい。

② 職員の質の向上に向けた体制の確立

職員一人ひとりの育成に向けた取り組みとして、目標管理制度と人事評価制度との連動を明確にして教育委員会の組織目標が掲げられ、職務目標には目標設定・進捗状況・達成度評価等職員一人ひとりの育成を図っている。今後「期待する職員像」を保育理念・保育方針等を踏まえ明確にされ、一人ひとりのモチベーションを高める取り組みを期待する。また、保育の資質向上に関する基本的事項となる研修に関する基本方針や具体的な研修目標を明記された教育・研修計画を策定されることを期待したい。

7 事業評価の結果（詳細）と講評

共通項目(別添1)

内容評価項目(別添2)

8 利用者調査の結果

アンケート方式の場合（別添 3-1）

9 第三者評価結果に対する福祉サービス事業者のコメント（別添 4）

（平成 31 年 2 月 5 日記載）

今回、第三者評価を受け、普段、当たり前となっている日々の園運営について改めて考える良い機会となりました。自園の良いところや改善すべきところが明確になり、今後力を入れていくところ等運営に役立てることが出来ます。

保育事業についての利用者アンケートなどを実施したことはありましたが外部評価は初めてのことであり、職員が緊張して受審しました。多くの評価項目があり尋ねられていることを理解できず苦慮したこともありましたが、評価者のみなさまと面談する中で、理解し日々の保育の状況を確認することができたことが多くありました。子どもたちに向かう姿勢や保護者との関わりなど直接関係するところは当然、力も入るところですが、地域や保育園に入園していない子育て中の家庭への働きかけなど外部への発信は弱く、今後注意し改善していくことと感じました。

良い評価をいただいた項目もありましたが、改善すべき点も多々あり、評価の着眼点やコメントを参考に改善を図っていきたいと思います。

阿智村立智里東保育園
保育園長 原 満